

## インドネシアでの温室効果ガス削減プロジェクト調査の実施について

当社は、温室効果ガスの排出削減効果が高いプロジェクトの発掘を目的とした、環境省の「平成18年度 CDM(クリーン開発メカニズム)／JI(共同実施)事業調査」の公募に対して提案していましたが、「インドネシア・スマラン埋立処分場メタンガス利用調査」が同省により採択され、実施する運びとなりました。

当調査は、温室効果ガス削減について豊富な経験を有する清水建設株式会社(本社:東京都港区, 社長:野村哲也氏)と共同で実施します。

今後、平成19年3月までの予定で、現地調査などを実施し、メタンガス利用のプロジェクトの実現可能性に関する評価や温室効果ガス排出削減効果の検討を行います。

当社は、当調査の実施により、海外における温室効果ガス削減事業に関するノウハウを蓄積するとともに、本プロジェクトの事業化により、将来的には、同プロジェクトからの排出権を獲得することを目指しています。

なお、当社が提案し、国の機関により採択された海外での温室効果ガス削減プロジェクトは、今回で3件目になります。

プロジェクトの概要は以下のとおりです。

### 【プロジェクトの概要】

#### 1. 名称

環境省 平成18年度 CDM／JI事業調査  
インドネシア・スマラン埋立処分場メタンガス利用調査

#### 2. 概要

インドネシア共和国ジャワ島中部ジャワ州の州都スマラン市にあるジャティバラン廃棄物埋立処分場から発生するメタンガスを主成分としたガスを回収し、ガスエンジン発電設備のエネルギー源として有効利用を図るプロジェクトです。

メタンガスは二酸化炭素と比較して21倍の温室効果があるため、メタンガスの大気放出を抑制することにより、地球温暖化の抑制が期待できます。

また、本プロジェクトの実施により発生する電力は、インドネシア国営電力会社に供給される計画であることから、火力発電所の焚き減らし効果による地球温暖化ガス量の削減も期待できます。

#### 3. 主な調査内容

- ▶ インドネシアにおけるCDMの取り組み状況に関する調査
- ▶ 事業計画・収益性に関する調査
- ▶ 環境影響に関する調査
- ▶ プロジェクト設計書の作成

#### 4. 調査スケジュール

平成18年7月下旬(契約締結後)～平成19年3月

	平成18年						平成19年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事前準備		—							
現地調査			—			—		—	
事業設計			—	—	—				
報告書作成				—	—	—	—	—	—

##### ※ 環境省「CDM／JI事業調査」

将来的に「クリーン開発メカニズム(CDM)」、「共同実施(JI)」として、温室効果ガスの排出削減や吸収源強化につながると考えられる効果の高いプロジェクトの発掘を目的に、財団法人地球環境センターが環境省の委託を受け、その調査案件を公募したものの。

##### ※ CDM:クリーン開発メカニズム事業

先進国が開発途上国と共同で、開発途上国内で実施した温室効果ガスの排出削減プロジェクトにより生じた削減量について、先進国の削減量に充当する制度。

##### ※ JI:共同実施事業

先進国同士が共同で実施した温室効果排出削減プロジェクトにより生じた削減量について、当事者間で分配する制度。

以上

 (参考) 地図

#### 関連リンク

・ [環境@エネルギー](#)

【地図】



(出所:外務省)